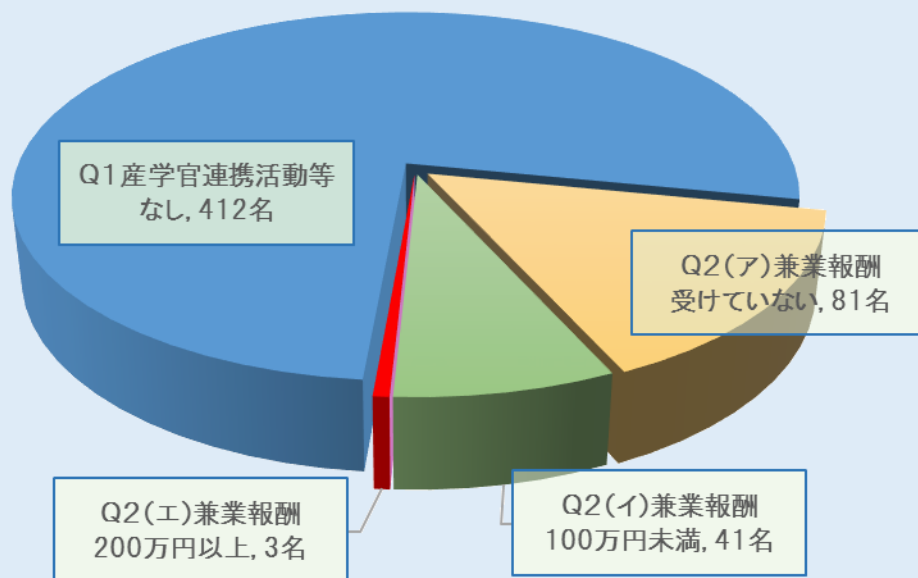


平成 25 年 利益相反マネジメント実施報告

利益相反自己申告書（平成 25 年対象）に基づき利益相反状況を審査した結果、問題となる事例は認められませんでした。

宇都宮大学利益相反マネジメント委員会
平成 26 年 9 月 10 日

利益相反マネジメント自己申告書調査（平成 26 年 5 月実施）集計結果



● 調査方法

関係規則及びガイドラインに従い、平成 25 年 1 月から 12 月までの間の産学官連携活動等による企業等との関係について、職員等より提出された「利益相反自己申告書」に基づき調査を実施した。

（※調査対象者：平成 25 年 12 月に在籍し、さらに調査実施の平成 26 年 5 月にも在籍していた職員等で休職者を含む）

● 実施対象者及び提出者数

全体数

対象者	対象者数	提出者	回収率
常勤教員	317	303	95.6%
教員以外の常勤職員	206	198	96.1%
非常勤職員	39	36	92.3%
全 体	562	537	95.6%

● 調査結果

Q1. 産学官連携活動等の有無

Q1	常勤教員	教員以外の 常勤職員	非常勤職員	合 計
な し	188	194	30	412
あ り	115	4	6	125
合 計	303	198	36	537

Q2. 兼業報酬による利益

Q2	常勤教員	教員以外の 常勤職員	合 計
(ア)受けていない	74	3	77
(イ)1～100 万円未満	38	1	39
(ウ)100～200 万円未満	0	0	0
(エ)200 万円以上	3	0	3
小 計	115	4	119

Q3. 株式または新株予約権による利益

該当なし

● 利益相反マネジメント追跡調査

利益相反マネジメント室において、利益相反マネジメント対象基準に該当する3名の自己申告書等を精査し、さらに兼業届等を用いて追跡調査を実施した。

● 利益相反マネジメント委員会による審議

利益相反マネジメント委員会に自己申告書の集計結果及び利益相反マネジメント室における調査状況を報告し、審議の結果、全ての提出者について利益相反上適正な状況にあると判断した。